

八尾市の中学校給食とは？

2日(月)、中学校の栄養教諭の方に来ていただき、6年生を対象に、八尾市の中学校給食と中学生の食事の重要性についてのお話をしていただきました。

中学校給食は、小学校と違い、学校の中ではなく、八尾市内の調理会社で作っています。作られた給食は、各学校へ配送され、学校で温めなおして提供されます。ごはんは、一人220g。だいたいコンビニのおにぎり2個分だそうです。そのことを聞いた瞬間、

「えーっ」と子どもたちの驚き。少なく感じたのでしょうか？ もちろんごはんだけでなく、おかずもあります。中学校では、一人ずつランチボックス形式で提供され、3～4種類のおかずが入っています。小学校と同じように旬の食材や地場野菜を積極的に使用しているそうです。

私立の中学校に行く児童もいますので、中学校給食の話だけでなく、「牛乳を給食で出している理由」「成長スパート(人生で身体が大きく成長する時期)」などの栄養面や成長面の話もしていただき、今の時期が、強い体をつくっていく大切な時期であることを教えていただきました。



6年生“卒業プロジェクト”「立つ鳥跡を濁さず」奉仕作業！

5日(木)、6年生が“卒業プロジェクト”と題して、6年間過ごした亀井小学校へ感謝の気持ちを込めて奉仕作業を行いました。内容は、運動場の側溝の掃除と裏の農園の整備。普段の掃除では、できない所をきれいにしてくれました。農園では、草抜きや新たな作物を植えるための畝づくりをしました。運動場では、側溝にたまった泥や砂を取り除きました。300個いただいた土嚢袋が、あっという間になくなってしまいました。午後からの2時間の作業でしたが、6年生の子どもたちは、いろんな思いを込め(?) 黙々と作業をしていました。中には、体操服が泥だらけになりながらも一生懸命作業する子も…。6年生が作業をしている姿を見て、「卒業まで残り少ないのだ」と改めて感じ、さみしい気持ちになりました。6年生の皆さん、ご苦労様でした。

